

TOKIWA

2021

AUTUMN

vol.205

INTERVIEW

優しい雰囲気はときわ園の魅力 ～常盤会を法律面で支えるエキスパートに聞く～



INTERVIEW

優しい雰囲気はときわ園の魅力 ～ 常盤会を法律面で支えるエキスパートに聞く ～

今回の広報誌TOKIWA秋号では、社会福祉法人常盤会顧問弁護士である法律事務所 First Penguin 代表弁護士の菅田正明先生にインタビューしました。

— 菅田先生は弁護士として活躍しておられますが、どのようなきっかけでこのお仕事をするようになったのでしょうか？

私は大学を卒業後に横浜市役所に就職しました。大学では商学部経営学科でしたし、就職したときにはまさか自分が弁護士になるなんて本当に夢にも思っていませんでした。しかし、横浜市役所という大きな組織の一員として働くことにも充実感があったのですが、自分自身の知識や経験で人に喜んでもらえるような仕事をしたいと思うようになりました。実際にはかなり悩みましたが、チャレンジしてみようと決めて横浜市役所を退職し、法科大学院（ロースクール）の未修者コースに入学して、法律を一から勉強して弁護士になりました。

— どのような苦勞がありますか？
複数の案件を同時並行で進めていくことになりますので常にマルチタスク状態であり、かつ、それぞれの業務の進め方や段取りも自分で決めなくてはなりませんので、主体的・能動的に仕事に取り組むことが求められる仕事だと感じています。

— どのようなときにこの仕事に就いてよかったと思われますか？

最初はどう進めれば解決に至るのかの道筋が見えないような案件について、自分なりに試行錯誤しながら、何とかお客様に喜んでもらえるような結論に至ることができたときには、苦勞した分だけ喜びも大きいと感じます。

— 菅田先生は全国老人福祉施設協議会の理事を務めておられますが、日本における老人福祉分野の今後の方向性について教えていただけますか？

私は老人福祉の現場で日々働いているわけではありませんので、老人福祉分野の方向性を教えるような立場にはないと思っています。ただ、色々な形で老人福祉分野に関与させていただく中では、この分野で働く方々の姿をもっと多くの人に見てもらいたいと感じています。ちょうどいま、全国老人福祉施設協議会では、新人介護職員が奮闘する姿を描いた映画「ケアニン」とコラボレーションして、YouTubeでショートムービーを公開していますので、1人でも多くの方に見ていただきたいと思っています。



First Penguin代表 菅田 正明 先生

— ときわ園にはどのような魅力があるか教えていただけますか？

横浜市役所で高齢者施設の实地指導・監査を行っていたこともあり、施設にいく機会がこれまでも多くありました。多くの施設を見てみると、その施設に入って何名かの職員の方と挨拶をするだけで、その施設から感じる雰囲気に大きな違いがあることがわかります。ときわ園さんの場合には、とても居心地のよい、優しい雰囲気を感ずることがができますので、大きな魅力だと思っています。

— ときわ園には今後どんなことを期待しますか？

千葉県は近年台風などによる自然災害が多く発生し、現にときわ園さんも被害に遭われています。大変な思いをされたこととは思いますが、この経験によって得た知見などは業界にとって貴重な財産でもありますので、他の地域・施設に伝えていただきたいと思います。

菅田先生、この度はインタビューに応じてくださりありがとうございました。優しい雰囲気を大切に、災害経験を活かせる施設を目指します。

介護と科学

本誌の2021年夏号で今年の4月から始まった科学的介護情報システム(LIFE)についての記事が掲載されました。介護と科学と聞きましても、少しびんこないように思えるかもしれませんが。医療分野について考えますと、様々なエビデンス(検査結果や症例など)に基づいて医療は行われています。当然ですが、医師のその場の思いつきや単なる勘だけで治療を行う医師には診てもらいたいとは思いません。介護もこれまでは、どちらかという介護職員の経験や感性などに頼って行われており、根拠や客観的な情報などのエビデンスが不足していました。それゆえ、職員や事業所によって質がまちまちでサービスの効果などもわかりにくい状況でした。そこで、介護の分

野でも蓄積した介護記録等の情報を活用し、根拠のある効果的な方法で介護サービスを提供するという考え方が取り入れられることになりました。

これにより、介護サービスの質の向上や自分のニーズに適したサービスを選択でき、安心して事業所選びができるようになることなどが期待されています。この制度や考え方はまだ始まったばかりで、十分に実効性が表れるには少し時間が必要とは思いますが、介護の世界が大きく前進したと感じています。

もちろん、これまで介護の分野で大切にしてきた寄り添うケア、温かさ、優しさなどデータでは表せない面もおろそかにしてはなりません。クールヘッド(科学的介護)とホットハートの

両面があって初めて良質な介護サービスが提供できると考えております。何事も科学は万能ではありませんので、知恵を持つ人は分別や道理があると言われる通り、この点でバランスも必要だと言えます。ときわ園でもこれまでの経験に加え、科学的介護の手法を取り入れて、利用される方の自立支援や重度化防止に努めつつ、「ときわ園に来て良かった」と感じていただけるような施設を目指していきたいと思っています。



「業務サポート部門」がスタート

業務サポート部門リーダー
田村 知之



ときわ園の“働き方改革”の一環として、7月19日から「業務サポート部門」がスタートしました。これは、従来からある「宿直、運転、設備、用務、清掃、洗濯」といった業務を、一つにまとめたものです。これらの業務はそれぞれ、利用者の生活を側面からサポートする重要な役割を担っています。建物・設備・車の維持管理、システム管

理、日常清掃や定期清掃、備品・消耗品の購入や補充、園庭の手入れ、デイ送迎や病院受診、ゴミの分別や搬出、それらに付随する調査や業者との交渉など、実に多くの仕事があります。それらを一つの部門にすることによって、部門内での業務をより一層効率的に行えるようにすることが目的です。

これらの業務のそれぞれには、専

任のスタッフもいれば、兼任のスタッフもいます。その多くはパート職員です。リーダーとして、一人一人の働き方に応じて、多岐にわたる業務を適切に割り振る責任があります。従来の業務の見直しや割り振りの変更も行うことで、業務の共通化・均等化・簡素化を図り、柔軟に対応できるように取り組んでいきます。



デイサービスの活動

フロアの窓越しに広がるテラスの向こうでは花や野菜の種がまかれ、花壇には花が、畑には野菜がみなさまの手で栽培されています。収穫の日には、みなさま大変良い表情をされています。



園庭の散歩



インゲンの収穫風景



じゃがいも大収穫



ミョウガの収穫



色鮮やかなトマト!



ナスの収穫



立派なインゲンが育ちました



種まきの準備



畑・花壇の水やり



発芽した花の苗の植え付け



金魚とメダカのお世話



トランプで盛り上がり...



積み上げゲームに集中



真剣勝負!



集中して塗り絵を...



工作に没頭中...

フロアではトランプで盛り上がる方々やレクリエーションに熱中する方々、ボードゲームで真剣勝負をしている方、塗り絵や工作に没頭する方々...各々が自由にやりたいことに取り組んでいます。



レクリエーション【的当て】



レクリエーション【魚釣り】

スイカ割り!綿あめ!ヨーヨー!コロナ禍でも季節を感じるイベントを!!

新館3階介護主任
鵜沢 和代



昨年度はコロナウィルスの流行とその対策のために、イベントが少なく利用者の皆さんの楽しみが減ってしまいました。今年度は感染対策をしながら少しでも楽しい時間が作れるようイベントを計画しています。

8月には夏を感じてもらえるようにスイカを食べるイベントを行いました。大玉のスイカに期待を寄せながら、美味しそうに召し上がっていました。感染対策のため、実際にスイカ割りをすることはできませんが、スイカを模した

紙風船を割って気分を味わいました。また、縁日の雰囲気も感じていただければと、提灯を飾り、ハッピーを着て、ヨーヨー釣りや綿あめ作りも一緒に行いました。綿あめができあがるのを興味深くご覧になり、召し上がると、その甘さに顔がほころんでおられました。これからも、感染対策をしたイベントを計画して、利用者の皆さんと楽しい思い出作りをしていきたいと思っています。



ガラス越し面会をぜひご活用ください!

生活相談部門主任
月川 健太郎



コロナ禍により面会制限を続けておりますが、この度ガラス越し面会という方法をご案内できるようになりました。新型コロナウイルス感染症が長期化化する中で、ご利用者・ご家族から「家族に会いたい、おばあちゃんの顔が見たい」など面会希望の声が多数上がっていました。園としても、皆様の気持ちに寄り添いたいと考え、面会実現に関する話し合いを進めておりました。今回ご提案するガラス越し面会は、

ご家族が園の中に入ることなく、外と中でガラス一枚越しに面会を行います。ときわ園の携帯電話を使用して会話もできます。新たな面会方法ではありますが、ご家族・ご利用者共に大変嬉しそうな様子です。今後も、ご利用者・ご家族のためにできることを考え続け、安心できる施設を目指していこうと考えております。※ガラス越し面会は完全予約制とさせていただきます。ときわ園のすべてのご

利用者がご家族に会えるように、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



Instagramインスタグラム開始

業務サポート部門
酒井 潤



現在新型コロナウイルスの影響によりこれまで当たり前のように行っていた事柄ができなくなっている状況が続いています。そのような中で、ときわ園がどのように新型コロナウイルスに向き合っているか、どのような対策を講じているか、気になっている方もおられると思います。また、職場の環境がどのようなものか、見学を望んでいてもそれができない利用希望者や就職希望者の方々も多くいらっしゃることでしょう。

ときわ園では積極的に情報発信をすべく、いくつかのツールを活用して現在の状況をリアルタイムでお伝えする環境を整えております。この記事ではそれらの取り組みについてご紹介します。特に、7月から開始したInstagramにご注目ください。



以前よりFacebookを使用してより早い情報発信ができるよう努めております。ときわ園ではホームページの充実に力を入れておりますが、ホームページの更新の度に新しいページの告知を投稿したり、PCR検査の結果等の新型コロナウイルス対策についてお知らせしたりするために使用しております。その他求人情報の更新も掲載することがありますので、就職をご希望の方はぜひご覧ください。



(2021年7月より始動)

私たちのサイトをご覧になっている方も感じていると思いますが、ときわ園では写真を撮るのが好きな職員が少なくありません。そこで、撮った写真を

今まではFacebookに投稿したりしていましたが、7月よりInstagramを開発し、より多くの魅力的な写真を投稿することができるようにしました。特にときわ園の庭がお好きな方はぜひご覧ください。新しい農作物、花、鳥などの投稿を中心にした投稿を心がけています。イベント食の案内や園内のイベントの写真も公開予定となっています。



(検討中)
公開は未定ですが、今年の春より計画を練り、YouTubeのチャンネルを持ち、試みとして、ときわ園へのアクセスについてまとめた簡単な動画を作成中です。今後、特にときわ園への就職をお考えの方、またEPA（経済連携協定）の制度を活用しときわ園で就労することを検討しているベトナム人の方など、多くの方々にとって参考となる動画の配信を検討中です。



Instagram
フォローしてね！



また、職員にインタビューをし、ときわ園で働くことについてどう感じているか、取得した資格をどのように活用できているかなど、多くの方が聴きたいと思っていることを発信できればと考えています。園内の様子の動画をご覧になれるようにしたいとも思っています。

ときわ園ではホームページ作戦会議という場で、これらのツールを適切に運用しているかを確認しつつ、投稿の閲覧数等を観察し、みなさまに興味を持っていただけるタイムリーな情報のお届けができるように日々検討を重ねております。今後もときわ園を利用する方々だけでなく、ご家族や職員、そしてときわ園に関係する全ての方々に、コロナ禍にあっても安心して楽しんでいただける投稿を作れるように努めてまいりたいと思います。

職員発の勉強会によってケアの質の向上を図る

医務主任
向後 澄子



介護保険制度改正に伴う排泄支援加算および褥瘡(じょくそう)マネジメント加算の取得に向けて、ご利用者へのケアの質の向上と職員のスキルアップを目的とし、介護、看護を中心に、排泄チームと褥瘡チームに分かれて勉強会を行いました。

排泄については年齢的な特徴や関連する機能障害など、褥瘡についてはその仕組みや予防など、それぞれ多岐にわたる項目を検討しました。ご利用者の排泄や褥瘡についての問題を

解決するためには、どのような視点で計画を立てるのがよいか、計画を立てて修正していくことがどれほど重要かなどについても勉強しました。

こうした学習する取り組みはこれまでも行ってきましたが、今回の勉強会ではご利用者にいっそう適した計画書を作成するための機会になりました。他のフロア職員との交流も深めることができ、非常に和やかな雰囲気で行われ、とてもよかったと感じました。今回の勉強会で扱われた内容以外に

もケアに必要な知識はたくさんあります。ケアに必要な知識を持ち、意識してご利用者のケアができるように心がけていきたいと思います。



災害に強い施設を目指す

施設長
酒井 章年



国連のIPCC（気候変動に関する政府間パネル）は、このまま温暖化が進めば、気象上の「極端現象」の強さや頻度が増すとして、温室効果ガスの排出を削減するよう警鐘を鳴らしています。今回2021年の報告書では、「人間の影響が大气、海洋および陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない」とし、温暖化は人間の活動によ

るものであると断定しています。とはいえ、温暖化防止の取り組みは様々な事情で目標通りに進まない現状にあり、今後も異常気象や極端現象が続くと想定されます。そのため、ときわ園をこのような状況に対応できるような施設にしていかなければなりません。BCP（※1）対策を推進し、「災害対応工程管理支援シス

テム“BOSS”」（※2）を活用しつつ、安心して暮らせる施設を目指します。

※1 事業継続計画

（Business Continuity Plan）

※2 東京大学生産技術研究所沼田研究室が開発したシステムで、2017年の開発以来導入自治体を増やし、現在約50自治体において導入されています。ときわ園では、そのシステムを老人福祉施設用に改良中です。



BOSS業務フロー図

活動ログ

7/18

生け花

本館では、自宅で咲いた季節の花々と花器を職員が用意し、5名のご利用者とお花を生けました。ご利用者は、「私に任せて!」と積極的に行ってくださいました。花器に合わせ、花々の色の配色や調和を考えながらの生け花は、とても楽しいひと時でした。安全に考慮し、剣山を使わずに氷を使用して花の位置を安定

させながら生けましたので、涼しげながらも工夫をしながら行うことができました

た。生けたお花は、食事席のテーブルに飾って皆さんが鑑賞されています(^.^♪



8/24

千葉市健康づくり優良事業所賞 受賞

社会福祉法人常盤会は、令和3年8月24日、「千葉市健康づくり優良事業所賞」を受賞しました。千葉市役所本庁舎8階「正庁」において表彰式があり、神谷俊一千葉市長から常盤会三枝弘朋理事長に表彰状が手渡されました。すでに常盤会は、「千葉市健康づくり推進事業所」の認証を受けていますが、その中での取り組みが評価され、今回「優良事業所」として表

彰されることになりました。今後も職員の健康促進に努め、働きやすい労働環境を作り上げるべく努力を重ねてまいります。

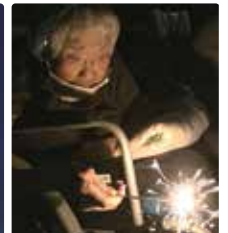


8/25

夏の思い出

夕食後、ご利用者と共に花火を鑑賞しました。駐車場、本館屋上、そして室内から、夜空を彩る打ち上げ花火を見たり、ナイアガラ花火などの様々な噴出花火を見たりして、楽しみました。新館では、数名のご利用者と共に手持ち花火も楽しむことができました。

つかの間の花火大会でしたが、「今年花火を見ることができて嬉しい」と涙ぐまれたご利用者もおられました。「花火の火薬の匂いが良いね～」という声も上がりました。猛暑の続いた今年の夏でしたが、夏の終わりに、気温が下がった夕暮れから夜の涼しさも味わいました。



編集後記

10月第2月曜日は「スポーツの日」です。以前は「体育の日」という名称でしたが、東京2020オリンピック・パラリンピックに合わせて昨年から変更されました。この祝日は、1964年の東京オリンピックを記念して1966年から始まりましたが、今年は7月23日に移動されましたね。印刷版のカレンダーでは10月11日は祝日のままなので、うっかり間違えた人もいたかもしれません。

秋は「スポーツの秋」とも言われるように、運動会も盛んに行われる時期です（今は春に行くことが多いようですが）。実は「スポーツの秋」という表現は、1964年の東京オリンピックの前からあったそうですが、オリンピックをきっかけに定着したということですね。確かに秋は爽やかな季節なので、気持ちよく運動できますね。ソーシャル・ディスタンスを保ちながら、スポーツを楽しみましょう。

